

# 浜田商工会議所 五月号 青年部レポート



## 新会長あいさつ

平成二十三年度  
会長 金子 奨悟

日増しに春の暖かさが感じられる今日この頃、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、平成二十三年度浜田商工会議所青年部会長を務めます金子奨悟と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

初めに、三月に起こりました東日本大震災にてお亡くなりになられた方も被害に遭われました皆様の一日も早い復興を心より願っております。当青年部といたしましても、できうる限りの支援活動を継続的に行っていきますのでよろしくお願ひします。

さて、今年度のスローガンとして『感謝』という言葉を選びました。私は、地元浜田で生を受け、育ち、商いをしていきます。地元へ感謝し、恩返しできるように、青年部活動に邁進していきます。

今年度の青年部活動の内容ですが、昨年B級グルメの出店があり過去最高の来場者数を記録したB大

鍋フェスティバルを全体事業とし、メンバー全員で企画、運営していきますので、皆様方のご協力並びにご支援を本年もよろしくお願ひ申し上げます。

次に、経済活性化事業といたしまして、浜田の『食』と『観光』を見直し、新発見、再発見すること、新しいツールを構築していきます。

また、経済の基礎である『人』を増やしたいという思いから少子化対策にも取り組んでいきます。簡潔に言うと、独身の男女に出会いの場を提供し愛を育んでいただき結婚、そして、出産・・・となるように企画運営しますので、ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、青年部の指針にある「行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ 力を合わせ国の礎となるう」の『行動』を今起こすときです。震災の支援活動を継続して行い、また、地元浜田の経済活性化にも尽力してまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

### 平成二十三年度事業計画

#### 総務委員会

【テーマ】 発見

各事業に協力し、責任を持って取り組む。新たな発見をもとに活動範囲を広げ、各自が創意工夫と行動力を持って実行する。

#### 【事業計画】

- 総会（二回）、役員会、卒業式の企画・運営
- 会員親睦会の開催
- 青年部活動への参加率向上
- 新入会員の獲得、サポート
- 会員名簿の作成・管理
- 名刺図案、ネームプレートの作成
- 担当例会の企画・運営
- B大鍋フェスティバルの企画・運営
- 他団体（JC等）との交流
- 全体事業への協力

#### h o n k i m a c h i 委員会

【テーマ】 優厳実考

「自らの成長の先に

このまち（浜田）の輝きを」

#### 【事業方針】

浜田の「食」と「観光」をテーマに「ひと」が魅力ある「まち」をつくり「まち」が心豊かな「ひと」を育てるためにこの浜田（まち）を大切にすると心と暮らす人々の思いやる心の和・つながりの輪を創造する委員会活動に取り組む。

#### 【事業計画】

- 「食」「観光」に関する調査・研究
- 浜田ガイドマップの企画・作成
- 石見四市の取りまとめ（開催地浜田）
- 県連事業の取りまとめ（益田YEG年三回）
- 担当例会の企画・運営（年四回）
- B大鍋フェスティバルの企画・運営
- 会員拡大への取り組み
- 会員出席率の向上

#### フロンティア委員会

【テーマ】 発見・挑戦・創造

青年部活動を通して新たな可能性を見出し、挑戦することで、更なる自己研鑽に努める。

#### 【事業計画】

- 少子化対策
- 大学生の人材活用を模索
- 新人研修会の企画・運営
- 担当例会の企画・運営
- B大鍋フェスティバルの企画・運営
- 全体事業への協力

#### 四月定時総会

平成二十三年四月二十日（水）午後七時より、鈴蘭別館において、岩谷会頭をはじめ多くの来賓の方々にご列席いただき、四月定時総会を開催いたしました。

金子会長の挨拶では、今年は、「感謝」をスローガンにかかげ、地域に感謝の心をもって地場産業発展に向けての事業、少子化対策事業等に取り組もうという所信表明がありました。

続いて、来賓の方々を代表して岩谷会頭よりご祝辞を頂戴いたしました。

その後、議事に進み、平成二十二年度事業報告、収支報告、平成二十三年組織図、事業計画、収支予算が審議され、満場一致で承認されました。

このたび、平成二十三年度の浜田商工会議所青年部の活動がスタートしましたが、地域が元気になることで東日本震災により被災された地域の復興につながればと願います。

最後になりましたが、大変お忙しい中お越し下さいましたご来賓の方々に感謝申し上げます。

総務委員会 表田真司